

Ⅲ 地下貯蔵タンクの流出事故防止対策（コーティング、電気防食、常時監視のイメージ図）

腐食のおそれが高いタンク

➡ ①又は②の措置

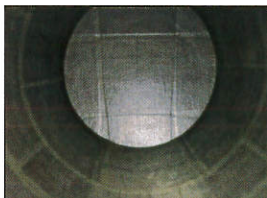
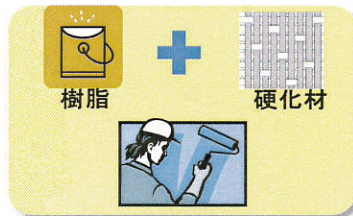
腐食のおそれが高いタンク

➡ ①、②又は③の措置

① FRP内面ライニング



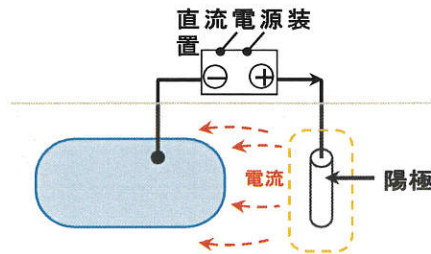
施工前



施工後

○埋設されたままの状況で内面全体に厚さ2ミリになるよう強化プラスチックを被覆する。

② 電気防食



○金属(鉄)の腐食は、土壌のイオン濃度の不均一性等により、埋設された金属の一部分に電流が発生し、鉄がイオン化して溶解するために発生する。

○電気防食は、埋設されたタンクへ外部から腐食によるものと逆向きの電流を流すことで腐食の進行を防止する。

③ 常時監視



○直径0.3ミリメートル以下の以下開口部からの危険物の漏れを常時検知することができる設備（例えば、埋設されたタンクに貯蔵されている危険物の液面を常に計測して、危険物の流出による液面の変化を検知し、警報を発するシステムがある。）